

薬連ハイライト

熱気を帯びた会長・幹事長集まる！

11月13日15時からホテルニューオータニにおいて平成30年度 第2回全国会長・幹事長拡大会議が開催された。

「本田あきこキャラバン」1巡目を廻って手応えと対応策を感じた47都道府県会長・幹事長が集まり、会場はやる気で熱気を帯びていた。山本会長は、薬剤師がかかえる政治課題に真摯に取り組むためにも来年7月に成果を上げたいと挨拶した。

続いて、藤井基之参議院議員が挨拶に立ち、医薬品医療機器制度部会に言及し、明日の薬局・薬剤師をどう考えるかが議論となっていると挨拶した。その後、秋田県薬剤師連盟 大越会長の座長で報告と協議が行われた。

本田あきこ、全国支部訪問展開中！

第2回全国会長・幹事長拡大会議終了後、16時30分より同所において「本田あきこ中央後援会第3回役員会」が開催された。本田あきこ副会長は現在2週目に入った都道府県薬訪問活動を報告し、活動

に対する都道府県関係者の協力に対しお礼を述べるとともに、引き続きの支援をお願いした。また、夏以降、大学のご協力のもと、いくつかの大学で講演を行い、これから社会に出る薬学生に向けて薬剤師のあり方等について体験をもとに訴えることができていると挨拶した。

活動報告では、日本病院薬剤師連盟及び日本女性薬剤師連盟の取り組みが木平、近藤両会長から報告され、都道府県薬連盟と連携して活動していくと述べられた。その後、橋本及び小屋敷日本薬剤師連盟企画実行委員の音頭による10・70・30コールで閉会となった。



本田あきこ中央後援会 第3回役員会がオレンジ色に！

もとゆき便り

第197回臨時国会召集

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

第4次安倍改造内閣発足後初となる、第197回臨時国会は、10月24日に召集され、衆参の本会議にて、安倍首相の所信表明演説が行われました。

首相は、今夏に相次いで発生した大きな自然災害の復旧・復興への対応、及び夏の猛暑対策等、学校の緊急重点安全確保対策として、9,356億円の補正予算を提案しました。予算の内訳は、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震、台風21号及び大阪北部地震等により損壊した、道路や河川の改修、ため池の補修などの復旧・復興費として、7,275億円。熱中症対策のために全国の公立小中学校へのエアコン設置、及び倒壊の恐れのあるブロック塀の安全対策に1,081億円を計上し、それに予備費1,000億円を追加したものとなっています。

社会保障については、少子高齢化という我が国最大のピンチをチャンスに変えることができるはずと述べ、これまでの働き方改革の上に、生涯現役社会を目指し、65歳以上への継続雇用の引き上げや中途採用・キャリア採用の拡大等、雇用制度改革に向けた検討を進めること。来年10月から幼児教育の

無償化、再来年4月から真に必要な子ども達への高等教育の無償化等、子どもから現役世代、お年寄りまで、全世代が安心できる社会保障制度へと、今後3年かけて改革を進めると表明しました。

また、IoT、ロボット、AI等の第四次産業革命のイノベーションの活用による生産性の向上に加え、入国管理法を改正し就労を目的とした新しい在留資格を設け、一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材を受け入れるとしています。外国人材の受け入れについては、自民党法務部会以外に、厚生労働部会でも取り上げ、年金や医療保険への加入状況・納付状況の確認の厳格化、他人の保険証を流用して受診する、いわゆる「なりすまし」への対応を含む制度運用の強化等を決議しました。

補正予算は原案通り可決し、入国管理法改正法が論戦的になると思われ、12月10日の会期末まで、その動向が注目されます。



藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfuji.jp